

「かみつ子ぶるやと体感塾」

冬の生活体験合宿



1日目

▲スーパーで夕食の買い出し。”買い物の達人”商工会女性部のみなさんが、引率・指導で協力してくれました。



2日目

▶「冬休み宿題解決大作戦」では、帯広産大学スタディサポートクラブのみなさんから勉強を教わりました。

平成24年上士幌消防団出初式



平成24年上士幌消防団

出初式が実施され、上士幌神社において安全祈願をした後、町内を巡る車両パレードや商店街での分列行進を行いました。

またこの日は山村開発センターにおいて式典も催され、消防団活動に長年貢献された方達に勤続表彰などが授与されました。

教育委員会が小学3年生～6年生を対象に今年度実施している「かみつ子ぶるやと体感塾」事業の一つ「冬の生活体験合宿」が、1月11日から13日の3日間にかけて上士幌中学校を舞台に開催されました。合宿では、小学生18名とサポート役の中高生10名が寝起きを共にしながら、炊事や掃除、そば打ち・もちつき体験、外遊びなどの充実したスケジュールをこなしました。最終日に設けられた振り返りの時間では、参加した子どもたちから「2日目の夜にやつた肝試しが思い出に残りました。」「自分たちはご飯の支度に何時間もかかるけど、お母さんはそれよりずっと短い時間でおいしく作れるのですごいと思いました。」といった感想が聞かれました。

▶商工会青年部のみなさんの協力でついたお餅を、きなこや砂糖醤油、あんこなどで味付けしてお昼に頂きました。



3日目

1月5日

冬休み中の小学生を対象とした「冬休み子ども料理教室」がふれあいプラザで開催されました。13名が参加しました。今年は、生地から手作りするピザや、コンソメスープ、フルーツヨーグルトを作り、最後に試食をしました。参加した遠藤まなさんは「ピザの盛り付けが楽しかったです。冬休み中に、お母さんに手伝つてもらいましたが、家でも作つてみたいですね。」と話していました。

13名が参加しました。今年は、生地から手作りするピザや、コンソメスープ、フルーツヨーグルトを作り、最後に試食をしました。参加した遠藤まなさんは「ピザの盛り付けが楽しかったです。冬休み中に、お母さんに手伝つてもらいましたが、家でも作つてみたいですね。」と話していました。



冬休み子ども料理教室

12月28日



12・1月の

まちのわだい

「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。

企画財政課情報交流担当 ☎ 2-2111 内線 265 または E-Mail ✉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

エンジョイサッカー教室



J1横浜F・マリノスで今季通算100試合出場を果たした現役Jリーガー・小椋祥平選手を招いての「エンジョイサッカー教室」（主催・上士幌町サッカー協会）が、スポーツセンター体育館で開かれました。

小椋選手の従兄弟が当町在住という縁から、町の「まちづくり活動支援事業」の補助を受けて実現した教室には、小中高生約35名が参加し、ドリブル・シート練習やミニゲームを実施しました。

練習終了後にはサイン会も行われ、色紙やボール、シュークなどにサインを貰った子どもたちには満面の笑みが溢れていきました。

1月8日

平成24年上士幌町成人式

平成24年上士幌町成人式が、生涯学習センターで開催されました。

今年は対象となる56名の新成人のうち、男性16名・女

性14名が参加し、三島茶道教室のみなさんによる恒例のお茶席体験のあと、式典が行われました。

式典では「二十歳の誓い」で一人ひとりが抱負を述べたほか、開町80周年記念制作のオリジナルソング「上士幌の空高く」のDVD上映などが行われました。



1月14日

かみつ子カルタ大会

第39回かみつ子カルタ大会（主催・少年会育成委員連絡協議会及び教育委員会）が、生涯学習センター3階大ホールで開催されました。

今年は8チーム計25名が参加し、町内のカルタ愛好者のみなさまによる競技進行のもと、北海道独自の「下



川村組が砂撒きと排雪処理のボランティアを実施しました

株式会社川村組は、

特別養護老人ホームすずらん荘及び生きがいセンターにおいて砂撒きと排雪処理のボランティア活動を実施しました。

年明け直後に行つた

ふれあいプラザ、生涯学習センターでの砂撒きに続く地域貢献活動の一環で、この日は18名が

現地に赴き、融雪剤入りの砂を散布しました。

またショベルカー2台と大型ダンプ5台を使い、両施設の敷地内に残った雪山の排雪処理も同時に行いました。

1月19日



の句かるた」による真剣勝負を繰り広げました。優勝チームは次のとおり。「Aブロック」TYSチーム（長瀬つかささん、谷口沙弥さん、八木谷優衣さん）／「Bブロック」がんばろう3人組チーム（蟹谷呼春さん、塩崎ひびきさん、中村董さん）

地域を変えてく新しい力

地域おこし協力隊活動報告

TITLE: 上士幌町の伝統文化？！「下の句カルタ」



記:社会教育推進員 松尾 佳世

こんにちは。教育委員会の松尾です。寒さが身にしみる季節ですね。

12月から1月にかけて、カルタ教室とカルタ大会を行いました。カルタはお正月の代表的な遊びですが、北海道のカルタは“下の句カルタ”です。百人一首の下の句が読みあげられ、下の句が書かれた木の札を取り合います。(一般的なカルタは紙のとり札に下の句が書いてあり、読み手は上の句から読みます。)3人対3人のチーム戦で、“攻め(突き)・中堅・守り”というポジションに分かれます。試合の様子はスポーツながらの緊張感があり、見ている私も思わず手に汗にぎってしまいました。

今回の教室は約30名、カルタ大会は8チームが参加しました。以前はもっと盛んにカルタが行われていたようです。規模は小さくなってしまっても伝統的に続いている”下の句カルタ”は上士幌町を代表する立派な文化ではないかと思います。普段の生活の“あたりまえ”の中に地域の特色が潜んでいるなあと実感しました。



▲読まれた札を探し中

まちのわたい

細木ひろみさんに感謝状



11の1区の細木ひろみさんは、長期にわたり統計調査に従事されてきたことから、このほど北海道知事の感謝状が贈られ、1月16日(月)、町長室において竹中貢町長より伝達されました。

細木さんは統計調査員としてこの10年間、工業統計調査・商業統計調査・国勢調査の各種統計調査に従事され、統計調査の推進に寄与されています。

日本光衣云



上士幌高校新聞局 通信

◀自由曲「ひとつの朝」を歌い上げる
3年A組

月刊上高

12月21日(水)

ますます充実 ハーモニーが響きわたる

3年間にわたり音楽を学ぶ本校では、毎年12月に全校生徒が一堂に会し、クラス合唱や器楽演奏などでその成果を披露しています。各クラスは、課題曲「青葉の歌」と自由曲を美しいハーモニーで歌い上げ、3年A組が最優秀賞を受賞しました。

富樫友浩君(3A)は「難しい曲を選んだので本番に間に合うか不安だった」そうですが、クラス一丸となって練習し、歌い上げ、高い評価を得ることができたことを喜んでいました。また、友人である小川裕貴君(3A)の独唱には「度肝を抜かれるくらいの迫力で、『サンタルチア』の歌声が体育館に響いていた」と語り、3年連続で独唱をした友人の努力を称えていました。

器楽演奏の部では生まれて初めてピアノや琴の演奏に挑戦する生徒もいます。



一生懸命、練習の成果を披露する姿が感動を呼び、年々、保護者の参観も増えてきています。今年で4回目を迎えた音楽発表会は、上高の伝統になりつつあります。

◀「サンタルチア」など2曲を独唱する小川君



▲箏で「さくらさくら」を演奏する2年生

川柳

短歌

平成23年12月末現在の人口

男	2,505人	(先月比+2)
女	2,648人	(先月比+1)
計	5,153人	(先月比+3)
世帯数	2,337世帯	(先月比-3)

寄付

▶8区の米倉利子さんは、12月7日に町の振興資金として金10万円を寄付されました。
▶帯広市の株式会社安井測量設計事務所は、12月26日に町の振興資金として金10万円を寄付されました。

—ふるさと納税(H23/12/7~H24/1/10)—
▶牧野郁雄さん(東京都、金1万円)▶濱本智子さん(東京都、金1万円)▶遠藤康宏さん(千葉県、金1万円)▶高浜弘次さん(神奈川県、金1万円)
▶山田舞さん(東京都、金5万円)▶安井広明さん(千葉県、金1万円)▶赤松高明さん(神奈川県、金1万円)▶齋藤竜太さん(東京都、金1万円)▶小野川浩さん(東京都、金1万円)▶渡辺亜紀子さん(東京都、金1万円)▶朝井典子さん(帯広市、金1万円)▶須藤雅則さん(群馬県、金1万円)▶生越洋一さん(京都府、金1万円)▶梅安賢吾さん(神奈川県、金1万円)▶岩本健司さん(埼玉県、金1万円)▶古賀大介さん(東京都、金1万円)▶松田恭治さん(東京都、金1万円)▶魚住貴さん(埼玉県、金1万円)▶田代政和さん(東京都、金1万円)▶広瀬新朗さん(神奈川県、金3万円)▶今井孝光さん(神奈川県、金1万円)▶須藤一郎さん(東京都、金1万円)▶大川有紀子さん(東京都、金3万円)▶仲宗根歩さん(岐阜県、金1万円)▶中村弘さん(東京都、金10万円)▶山本真さん(滋賀県、金1万円)▶岩原愛さん(広島県、金4万円)

- 上士幌町民憲章
- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になります。
 - 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
 - 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
 - 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
 - 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

バレンタイン今年も一人でチョコを食べ
登る屋根落ちないよう雪下ろす
母さんは入院ひとりで薪をたく
除雪から解放されて春が来る
節分に歳の数だけ豆を食べ
雪山が人を隠して危険増し
うまいソバいつかはボクも打ちたいな
カロリーを考えているのにまた太り
積もる雪除雪に腰が悲鳴あげ
被災児の目の輝きに安堵する
声かけが優しさ繋ぐ絆の輪
三匹のワカサギ天ぷらにもならず
小鳥たち原発知らず餌を食む

外灯の光の中に降る雪を見つづ静かに今宵は更けて
除雪車の走る音に街は明け人ら出で来て賑はふ戸外
夕雲は南の空に鮮やかにオーロラの如くみどりになびく
雪の原そりであそぶ子供ら見ゆ遠い日思いつつバスの窓より

桜白坂八鈴齊高小齊米小藪米
重石田樺木藤木池藤森松根森
花幸敦誠由浩博義眞
絵馨いさ子豊子也希一樹美守弓
子

石川裕子



編集後記

紙2012年が始まったばかりですが、あっという間にもう1月が過ぎようとしています。

時は金なり。あと1ヶ月で2013年。紙それはさておき、今年最初のビックイベントである“ワインターバルーン”を頑張って取材したいと思います。(防寒必須...)

紙どうしても欲しくて先端から光がでる耳かきを子ども用に購入しました。紙これまでだいたいで掃除していたのですが、奥を照らせるようになったので、安心して作業できます。紙まだ耳穴が小さいので耳奥を照らすように使用し、粘着スパイラル綿棒でペタペタ掃除しています。(大きいのがとれるとうれしくなります...)